

麦類除草剤の変更および編入

（農業試験場技術部）

1. 背景とねらい

麦類は省力高収益栽培が可能な作物であり、除草剤の使用は生産に欠かせないものとなっている。しかし、特定除草剤の使用により雑草発生様相が変化し、特に近年発生が問題となっているキク科1年生雑草や多年生雑草に対しては既存のものより除草効果に優れた新たな除草剤の採用が必要であった。これらのことから、農薬登録の追加変更に伴い、麦類雑草防除基準の変更及び編入をおこなった。

2. 技術内容

(1) ハーモニー75DFの使用時期の変更

変更点 秋まき小麦に対する使用時期 (変更前) 麦3～4葉期 ↓ (変更後) 麦3葉期～節間伸長前

(2) カイタック乳剤の編入

ア 本剤の特性

成分	ペンディメタリン 15.0%，リニュロン 10.0%
毒性	普通物
魚毒性	ペンディメタリン B類，リニュロン A類
性状	暗褐色透明可乳化油状液体
吸収特性	非ホルモン系吸収移行型除草剤，殺草作用 光合成阻害
対象雑草	1年生イネ科・広葉雑草

特に、生産現場で近年発生が問題となっているキク科1年生雑草に対して、既存のペンディメタリン乳剤に比較し、除草効果に優れる。

イ 使用基準

対象雑草	処理法	使用時期	使用量	使用回数	使用上の注意
一年生 雑草全般	土壌処理	播種直後 (雑草発生前)	ml/10a 沖積土 400 火山灰土 500	1回 ペンディメ タリまたは リニュロンを 含む薬剤を 含め	1. 碎土・整地はていねいに行う。(薬害) 2. 排水不良圃場や砂土では使用しない。 3. ヤエムグラに効果が劣る場合がある。 4. 水系への流入注意

(3) カイタック細粒剤Fの編入

ア 本剤の特性

成分	ペンディメタリン 1.5%，リニュロン 1.0%
毒性	普通物
魚毒性	ペンディメタリン B類，リニュロン A類
性状	黄色細粒および微粒
吸収特性	非ホルモン系吸収移行型除草剤，殺草作用 光合成阻害
対象雑草	1年生イネ科・広葉雑草

近年発生が問題となっているキク科1年生雑草に対して、既存のペンディメタリン細粒剤Fに比較し、除草効果に優れる。

イ 使用基準

対象雑草	処理法	使用時期	使用量	使用回数	使用上の注意
一年生 雑草全般	土壌処理	播種直後 (雑草発生前)	kg/10a 沖積土 5 火山灰土 5～6	1回 ペンディメ タリまたは リニュロンを 含む薬剤を 含め	1. 碎土・整地はていねいに行う。 2. 排水不良圃場や砂土では使用しない。 3. ヤエムグラに効果が劣る場合がある。 4. 水系への流入注意

(4) インパルス水溶剤の編入

ア 本剤の特性

成分 グリホサートナトリウム塩16.0%、ビアラホス8.0%
 毒性 普通物
 魚毒性 グリホサートナトリウム塩 A類, ビアラホス B類
 性状 青色水溶性細粒および微粒
 吸収特性 非選択性茎葉処理吸収移行型除草剤
 殺草作用 タンパク質阻害
 1年生イネ科雑草および1年生広葉雑草

イ 使用基準

対象雑草	処理法	使用時期	使用量	使用回数	使用上の注意
一年生 雑草全般	茎葉処理 (雑草の 生育期に 雑草全体 に均一に 散布)	耕起前 7日以前 (雑草の 草丈30cm 以下)	g/10a 500~600	1回 ビアラホスま たはグリホ サートを 含む薬剤 を含め	1. 水100リットルに希釈し 雑草茎葉によくかか るよう散布する。 2. 周辺作物への飛散に 注意する。 3. 展着剤は加用する必 要がない。

3 指導上の留意事項

(1) 雑草防除基準による。

4 試験成績概要

表1 ハーモニー75DLの越冬後処理における適用性検定試験結果概要

使用時期など	薬剤名	使用量 (g/a)	雑草発生無処理比%		薬害	
			イネ科 1年生	非イネ科 1年生		
H5.4.18 岩手農試 ナツコムキ	DPX-16	0.5	-	25	無	
		0.75	-	18	無	
		1.0	-	17	無	
	アイキソニル	16	-	40	無	

表2 カイタック乳剤の適用性検定試験結果概要

使用時期など	薬剤名	使用量 (ml/a)	雑草発生無処理比%		薬害	備考
			イネ科 1年生	非イネ科 1年生		
H3年 青森農試 キタカコムキ 播種直後処理	PL-10乳剤	40	0	2	無	
		50	0	1	無	
		60	0	t	無	
	(比)リニロソ粒	600	150	8	無	

表3 カイタック細粒剤Fの適用性検定試験結果概要

使用時期など	薬剤名	使用量 (ml/a)	雑草発生無処理比%		薬害	備考
			イネ科 1年生	非イネ科 1年生		
H3年 青森農試 キタカコムキ 播種直後処理	PL-10 細粒剤	40	0	6	無	スズメノカタビ
		50	0	4	無	ラ
		60	0	2	無	ハコベ・ナス
	(比)リニロソ粒	600	150	8	無	ナ